

## 2021年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号		学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	松本 雅美
------	--	-----	-------------------	-------	-------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱 (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。  
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。  
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。  
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。  
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。  
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。  
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。  
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準】 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった  
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
1 「わかる・力のつ く」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上		○							時間の問題で改善必要
		(2) 他の教員の授業参観年2回以上			○						
		(3) 勉強会の実施年6回以上		○							
		(4) 研修・講座への参加年1回以上		○							
2 校内規則及び社 会規範の順守 基本的生活習慣 の確立と心身の 健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施		○							
		(2) 交通安全講座依頼			○						
		(3) 薬物乱用防止講座依頼			○						
		(4) 性教育講座依頼		○							
3 効果的な進路指 導・キャリア教育 指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力 養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施		○							コロナの影響で母国へ帰国進学組に影響 コロナの影響で進路が明確に出来なかった    コロナの影響で機会減少 コロナの影響で機会減少 コロナの影響で機会減少
		(2) 高校3年生三者面談の実施			○						
		(3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施			○						
		(4) 日本語能力試験・英検受験奨励		○							
		(5) 日本での進学システムの説明		○							
		(6) オープンキャンパスへの参加		○							
		(7) 職業講座開催依頼			○						
		(8) 職場体験実施依頼			○						
		(9) 職場見学			○						

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
4 生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施		○							校内活動もコロナの影響を受け、それによるリーダー育成チャンスが減少
5 日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育の充実</li> <li>日本語能力試験受験奨励</li> <li>日本社会に適応するための知識向上</li> <li>地域交流活動の積極的実施</li> <li>見学、研修の積極的受け入れ</li> </ul>	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上 (2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成 (3) 漢字昇級試験毎月実施 (4) 地域のイベントへの参加 (5) 見学・研修の受け入れ		○							本人のモチベーションアップに努める 人員確保の問題 コロナで開催なし コロナで開催なし
6 安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の清掃の徹底</li> <li>地震防災体制の確立</li> <li>送迎バス利用のためのルール確立</li> </ul>	(1) 整備委員会による点検の徹底 (2) 教室安全チェック月1回以上 (3) 避難訓練実施月1回 (4) 消火・防災訓練依頼 (5) 送迎ルート安全確認年3回 (6) 安否確認方法整備 (7) クラス毎の連絡網確認年3回		○							
7 活力ある学校運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営、課題についての共通理解の徹底</li> <li>生徒募集のための活動の充実</li> </ul>	(1) 共通理解のための校内研修実施 (2) 教務内規改訂の検討 (3) 年度途中での課題確認による計画の修正 (4) 学校HP更新月1回 (5) オープンデー年1回以上		○							

## 2021年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号		学 校 名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評 価 者 氏 名	塚本 多恵
------	--	-------------	-------------------	-----------------------	-------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱 (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。  
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。  
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。  
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。  
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。  
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。  
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。  
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった  
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
1 「わかる・力のつ く」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上							○		
		(2) 他の教員の授業参観年2回以上							○		
		(3) 勉強会の実施年6回以上							○		
		(4) 研修・講座への参加年1回以上							○		
2 校内規則及び社 会規範の順守 基本的生活習慣 の確立と心身の 健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施							○		
		(2) 交通安全講座依頼							○		
		(3) 薬物乱用防止講座依頼							○		
		(4) 性教育講座依頼							○		
3 効果的な進路指 導・キャリア教育 指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力 養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施							○		
		(2) 高校3年生三者面談の実施							○		
		(3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施							○		
		(4) 日本語能力試験・英検受験奨励							○		
		(5) 日本での進学システムの説明							○		
		(6) オープンキャンパスへの参加							○		
		(7) 職業講座開催依頼							○		
		(8) 職場体験実施依頼							○		
		(9) 職場見学							○		

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
			A	B	C	D	A	B	C	D	
4 生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施						○			学校行事の進行を児童生徒に任せるなど、リ-
5 日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	・日本語教育の充実 ・日本語能力試験受験奨励 ・日本社会に適応するための知識向上 ・地域交流活動の積極的実施 ・見学、研修の積極的受け入れ	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上 (2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成 (3) 漢字昇級試験毎月実施 (4) 地域のイベントへの参加 (5) 見学・研修の受け入れ						○	○	○	
6 安全・安心な教育環境の整備	・校内外の清掃の徹底 ・地震防災体制の確立 ・送迎バス利用のためのルール確立	(1) 整備委員会による点検の徹底 (2) 教室内安全チェック月1回以上 (3) 避難訓練実施月1回 (4) 消火・防災訓練依頼 (5) 送迎ルート安全確認年3回 (6) 安否確認方法整備 (7) クラス毎の連絡網確認年3回						○	○	○	
7 活力ある学校運営体制の確立	・学校運営、課題についての共通理解の徹底 ・生徒募集のための活動の充実	(1) 共通理解のための校内研修実施 (2) 教務内規改訂の検討 (3) 年度途中での課題確認による計画の修正 (4) 学校HP更新月1回 (5) オープンデー年1回以上						○	○	○	

## 2021年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号		学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	鈴木 三男
------	--	-----	-------------------	-------	-------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱 (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。  
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。  
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。  
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。  
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。  
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。  
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。  
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準】 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった  
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
			A	B	C	D	A	B	C	D		
1 「わかる・力のつく」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上 (2) 他の教員の授業参観年2回以上 (3) 勉強会の実施年6回以上 (4) 研修・講座への参加年1回以上	.	.	.	.	○	.	.	.	.	「わかる・力のつく」授業内容への研究に熱心に取り組み実践されており、常に改善をしていく姿勢を評価できる。
2 校内規則及び社会規範の順守 基本的な生活習慣の確立と心身の健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施 (2) 交通安全講座依頼 (3) 薬物乱用防止講座依頼 (4) 性教育講座依頼	.	.	.	.	○	○	○	○	.	学校訪問時には児童生徒が元気よく挨拶してくれ、礼儀作法等の生活指導が行き届いており評価できる。
3 効果的な進路指導・キャリア教育指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施 (2) 高校3年生三者面談の実施 (3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施 (4) 日本語能力試験・英検受験奨励 (5) 日本での進学システムの説明 (6) オープンキャンパスへの参加 (7) 職業講座開催依頼 (8) 職場体験実施依頼 (9) 職場見学	.	.	.	.	○	○	○	○	○	生徒たちの進路開拓のため、大学生や研究者、指導者の受入れを積極的に行うとともに、各大学や他の関係機関と連携した講座・研修を開催し、多様な方面から生徒の進路拡充につながるよう取り組んでおり評価できる。

取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題		
			A	B	C	D	A	B	C	D			
4 生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施						○				学校行事の進行を児童生徒に任せるなど、リーダー育成を通じた主体性、協調性の涵養へ取り組み評価できる。	
5 日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教育の充実</li> <li>日本語能力試験受験奨励</li> <li>日本社会に適応するための知識向上</li> <li>地域交流活動の積極的実施</li> <li>見学、研修の積極的受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上</li> <li>(2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成</li> <li>(3) 漢字昇級試験毎月実施</li> <li>(4) 地域のイベントへの参加</li> <li>(5) 見学・研修の受け入れ</li> </ul>						○	○	○	○	非漢字圏の子どもたちにとって日本語能力検定はハードルが高いものの、資格取得について実績を積み重ねており評価できる。	
6 安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の清掃の徹底</li> <li>地震防災体制の確立</li> <li>送迎バス利用のためのルール確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 整備委員会による点検の徹底</li> <li>(2) 教室内安全チェック月1回以上</li> <li>(3) 避難訓練実施月1回</li> <li>(4) 消火・防災訓練依頼</li> <li>(5) 送迎ルート安全確認年3回</li> <li>(6) 安否確認方法整備</li> <li>(7) クラス毎の連絡網確認年3回</li> </ul>						○	○	○	○	○	コロナ禍における検温や消毒、換気などの感染対策は徹底されている。ルールを定め、役割分担もあり、安全・安心な教育環境を常に整えており評価できる。
7 活力ある学校運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営、課題についての共通理解の徹底</li> <li>生徒募集のための活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 共通理解のための校内研修実施</li> <li>(2) 教務内規改訂の検討</li> <li>(3) 年度途中での課題確認による計画の修正</li> <li>(4) 学校HP更新月1回</li> <li>(5) オープンデー年1回以上</li> </ul>						○	○	○	○	○	ホームページを通じた情報発信について、母語・日本語での情報提供や、校内活動やイベント情報がタイムリーに発信されており評価できる。